

# 大阪まちブランド探訪

## 「まちづくりを遊ぶ・愉しむ」を発行

「もうひとつの大阪」を発見する、  
新たなまちの歩き方・愉しみ方を提案。

栗本智代著 創元社刊



### 内容紹介

本書は、著者がCEL誌に連載した『大阪再発見』シリーズを中心として一冊にまとめたもの。

近年、大阪の各所で盛んになってきた地域再発見の動きを追い、新しい「まちブランド」の源泉として意味付けている。大阪には、歴史的街並みを守り、長屋や近代建築を再生し、古典芸能を掘り起こす人たちがいる。祭りの伝統を受け継ぎ、あるいは祭りを新たに生み出し、また異文化との共生をめざす活動がある。

著者は、それぞれの地域で芽ばえている、そうした「まちづくり」の現場を訪ね歩き、それを担う人々に会い、地域独自の資源を生かそうとする多様な試みを追いかける。

土地の歴史と文化をふまえながら、「場」を支え、可能性を追う、多彩なキーパーソンへのインタビューからは、従来の固定的なイメージを塗り替えるような清新な大阪像が浮かび上がってくる。そこには、著者が言うように、大阪の新たな「ブランド力」の存在を確かに感じることができる。

栗本智代(くりもとともよ)

大阪ガスエネ北千代文化研究所 主任研究員。

関西 特に大阪の活性化をめざして都市の個性や魅力を探求し、「なにわの語り部」公演や、まち歩きを織り込んだ「大阪の新観光プログラム」の実践にむけた活動に取り組み。著書は、『水の都に浮かぶ劇場』(KBR出版)、『大阪まち物語』(共著、創元社)、『大阪力事典』(共著、創元社)など。

### 目次

- 第1章 まちづくりを遊ぶ ネットワーク型のフィールドミュージアム
  - 町家ミュージアムにおけるムーブメント 空堀商店街界限
  - 歴史文化を再生産する遊び心のミュージアム 平野郷
- 第2章 手づくりの文化創造村 新旧・異文化が織り交ざったまちを愉しむ
  - 人と「場」をつなく、祭りの実験劇場 天満界限
  - 旧村の歴史とコリア文化が共存するまち 鶴橋・猪飼野
  - ちんちん電車に乗って屋敷まちへ 帝塚山界限
  - 昭和の温もりを再生産するまち 野田・福島
- 第3章 古典芸能のテーマパーク 小屋・舞台を探訪する
  - 地域に根づく上方落語 手づくりの「寄席」をめぐる
  - 上方歌舞伎のテーマパークとしての大阪 名作の舞台名所を歩く
  - 江戸から平成に蘇生したカブキと劇場 扇町公園に平成中村座がやってきた
  - コラム 時代劇オペラat坐摩神社 それは、小さなカフェからはじまった
  - 対談 「色」と「愛」の舞台装置としての大阪 ゲスト 佐伯順子さん
- 第4章 大阪モダニズム文化再見 近代建築物の保存と再生
  - 近代大阪モダニズム再見 北船場
  - 資源の見直しによる隠れ家的「場」の展開 西船場
- 第5章 誘客ターミナルの挑戦 人が交流する観光エリアの魅力
  - 大阪ターミナルものがたり 梅田と駅のアイデンティティ
  - ライフスタイル文化の発信地 堀江界限
  - コラム ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 総合エンターテインメントパークを目指して
  - 対談 “心象”を交歓できる旅へ 住民活動の資源から地域ブランドを創る ゲスト 宮本倫明さん

